

Viva Kango

Campus News of the Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字北海道看護大学

平成二十一年度

入学式



爽やかな空のもと、看護学研究科看護学専攻四名、同助産学専攻十一名、看護学部一〇五名を迎え平成二十一年度日本赤十字北海道看護大学入学式が四月六日に挙行されました。石井トク学長は式辞に際し、開学十周年の本年に大学院新設課程と看護教育新カリキュラムがスタートした記念の入学を祝すとともに、世界で活躍する人材を目指し学業への日々の努力と諦めない根性を推奨しました。大塚義治日本赤十字学園理事長（浦田喜久子常務理事代読）も、赤十字思想誕生一五〇周年の本年入学生には国際支援を展開する日本赤



十字社への思いを強くもつよう期待すると述べました。

来賓の小谷每彦北見市長からは地域医療を支える世代として成長して欲しいと祝辞を頂き、伊藤義郎日本赤十字社北海道支部長（中島昇事務局長代読）からは国家資格取得の厳しい道を励まし合い切磋琢磨して進むようにとの言葉を頂きました。在学生代表の村田里美自治会長はサークル活動での先輩や友人との交流がキャパシティを充実させると歓迎のアドバイス、新入生代表の浅川茜さんが勉学への決意を込めて誓いの言葉を述べ式典は閉会しました。

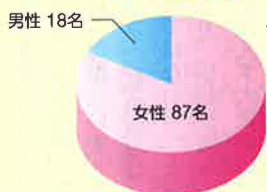
平成21年度入試概況

試験区分 募集人員等	推薦入学試験		一般入学試験	大学入試センター試験利用入試	社会人入学試験
	公募推薦	指定校推薦	試験	試験	試験
募集人員	35名	10名	45名	10名	若干名
志願者数	69名	7名	138名	104名	5名
受験者数	69名	7名	131名	104名	5名
合格者数	48名	7名	75名	43名	2名
実質倍率	1.4倍	1.0倍	1.8倍	2.4倍	2.5倍

■入学者（出身高校）都道府県別内訳

北海道(96名)・青森県(4名)・岩手県(1名)・東京都(1名)
新潟県(1名)・石川県(1名)・他(1名)

男女別内訳



新卒・既卒者内訳



新入生
歓迎のごとくば



学長
石井 トク

日本赤十字北海道看護大学看護学部、大学院の皆様、ご入学おめでとうございます。本学の教職員一同、皆様を心より歓迎すると共に、自らの職務を再認識し、その責務を十分に果たす所存でございます。新入生の皆様は人生の転換期を迎え、本学にとっても史上を飾る節目の年の学生に当たります。

医療・看護の高度化に鑑み、新たな看護教育カリキュラムが本年度から導入され、本学の特色を踏まえた教育が行われます。また、社会のニーズに対応するため、修士課程助産学、がん看護専門看護師養成コースの開設に伴い、全国から新たに十三名の教員を迎えました。認定看護師教育課程の入学者も確定し、六月の開講を待つばかりとなっております。本学のさらなる発展と飛躍に向け、新たな一歩を踏み出す今日のこの日を、学生の皆様と共有できる幸運の喜びと共に、その責任の重みを実感しております。学生の皆様は、学習、研究の目標に向け、「日々の努力の積み重ね」と「最後まで諦めない根性」そして、挑戦する勇気を培って下さい。

平成二十年度卒業式

— 学部生 一〇七名卒業 —

平成二十一年三月十一日、本学講堂において看護学部卒業式が関係者の見守るなか厳粛に執り行われました。

出席者全員で御歌「四方の国」を斉唱し、続いて、石井トク学長から卒業証書ならびに学位記が卒業生一〇七名(代表、渡辺温子さん)に手渡されました。その後、石井学長から「石の上にも三年」、「常になぜと問いかける」、「人間を救うのは人間だ」の三つのキーワードを用いて、今後への励ましの言葉が式辞の中で贈られました。引き続き、大塚義治日本赤十字学園



理事長、小谷每彦北見市長(下山 皓史北見市教育委員会委員長代誌)、伊藤善郎日本赤十字社北海道支部長(梁谷一彦事務局次長代誌)から祝辞を賜りました。在学生を代表して和田薫さんが「実技試験や実習では心強いアドバースや暖かい言葉に励まされました。本学で学んだことを活かして頑張ってください。」という送辞を読み上げ、卒業生を代表して白井昌行さんが「実習では仲間にも励まされ、そして患者様に勇気づけられて成長することができました。これから困難な問題もありますが頑張っていきたい

と思います。」という答辞を読み上げました。祝電の披露、卒業表彰、記念品、花束の贈呈と続き、最後に「ほたるの光」を全員で斉唱して式を終りました。



第7回卒業生の進路について

	道内	道外	合計
日赤関係	52	17	69
国公立医療機関	3	2	5
大学附属病院	11	0	11
公的・各種団体医療機関	10	3	13
医療法人	4	0	4
個人	0	0	0
行政機関	2	0	2
助産所	0	0	0
進学	2	0	2
その他	1	0	1
合計	85	22	107

■日赤関係内訳
 【北海道内】
 北見赤十字病院十六名、旭川赤十字病院十三名、釧路赤十字病院十名、伊達赤十字病院二名、置戸赤十字病院三名、函館赤十字病院四名、小清水赤十字病院一名、栗山赤十字病院二名、浦河赤十字病院一名
 【北海道外】
 日本赤十字社医療センター二名、日本赤十字社和歌山医療センター三名、姫路赤十字病院一名、武蔵野赤十字病院三名、名古屋第一赤十字病院三名、福島赤十字病院一名、山田赤十字病院一名、さいたま赤十字病院一名、長浜赤十字病院一名
 【進学】
 日本赤十字北海道看護大学大学院助産学専攻一名

学生相談室より



カウンセラー 橋本 きみ

みな様こんにちは、学生相談を担当している橋本きみです。看護師を四十年以上勤め、その後共同作業所・高齢者ふれあいの家などでボランティアをしています。一月から縁あって相談室に月二回伺っています。

ハムレットの台詞に有名な「生きるべきか。死ぬべきか」がありますが、人間生きている限り悩みは尽きません。年齢・性別・学歴

など無関係に、生きること全てに悩みが張り付きます。だからと云って「死ぬべき」にならず、出来るだけ快適に「現在・いま」を過ごしたいものです。私の望みは「人生捨てたものではない！」と言えるのが目標です。しかし悩みの最中には、光が見えず大変辛いです。相談室は、今のこの状態に一寸距離を置いてみる場所ではないかと考えます。悩みの種に距離を置くことで自分自身と共に、これからどう進むのか、その方向も見え、結果として身軽になつて戴ければと思います。

春を迎え着膨れから解放され、心も春向きにしたいと密かに感じている方、どうぞいらしてください。秘密は厳守を約束致します。予約は学生支援課です。

平成20年度国家試験合格状況

	受験者数	合格者数	合格率(%)	合格率(全国%)
看護師	107	106	99.1	89.9
保健師	104	101	97.1	97.7
助産師	5	5	100.0	99.9

橋本先生の相談日

毎月 第2・第4木曜日
12:00~18:00

※7月から月に1回、土曜日にも相談に応じます。(要予約)

新任教員紹介①



生活看護科学領域
教授 伊奈 侑子

つておりましたが、それが妄想だと気がつきました。一方で「オホーツク」と呼ばれる地域の住民になつてうれしく思ったり、北海道の「お土産」が日常的に手に入れられる環境に思わずひとり笑いだたり、こちらでの生活を楽しんでいきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



老年看護学領域
准教授 松村 三千子

老年看護学領域の松村です。

関西より赴任してまいりました。大学周辺をウォーキングしています。ウォーキング中に落の藁群生を見て感激しています。来年は落の藁を採取して、美味しい落味噌を作ろうと今からわくわくしています。やがて迎える自身の老後に、安心して任せることができる人材を輩出したいと考え、教育を実践していますが、皆様よろしくお願ひいたします。



成人看護学領域
准教授 葛西 智賀子

四月より成人看護学を担当することになりました。

青森出身なので、北海道の生活にはそんなには困らないはずと思



語学領域
准教授 シャロンハンリー

皆さん、はじめまして、Sharon Hanleyと申します。私はイギリス

の北部にあるスコットランド出身です。スコットランドの面積も人口も、自然も北海道と同じです。本州の蒸し暑い夏はとても苦手です。英国 St. Andrews University 大学院を修了後、来日しました。国立法人旭川医科大学、北海道医療大学などを経て本年四月より日本赤十字北海道看護大学に赴任しました。専門は医学英語、医療翻訳とウィメンズ・ヘルスです。先進国の子宮頸がん検診の現状とHPVワクチンへの取り組みが研究テーマです。宜しくお願ひ致します。



基礎看護学領域
講師 山口 佳子

基礎看護学領域に就任しました山口佳子(けいこ)です。主に北見赤十字病院で十二年の臨床経験の後、本学開校年次に基礎看護学講座に一年、看護専門学校で七年の教育経験を経て本学に参りました。看護基礎教育変革の年に、本学に就職できたことに何かしらの縁を感じております。次世代を担う学生諸君が、「誇りある看護職」を目指せるように学生と関わり、そして自らも成長していけるよう邁進する所存です。どうぞ宜しくお願ひいたします。

学生の表彰について

平成二十年度より、学生表彰制度が開始されました。表彰制度導入後、初めての受賞者が決まりましたのでお知らせいたします。



学業成績による表彰は、学年表

彰と卒業表彰に分けられ、学年表彰は前年度の総合成績の最上位者卒業表彰は一から四年次までの全ての成績上位者三名程度です。表彰された卒業生は、卒業式の際、記念品と奨学資金として五万円を贈呈されました。学年表彰とその他の表彰は六月にされました。

平成二十年度 卒業表彰

- 渡辺 温子 さん
- 浅井 美佳 さん
- 平成二十一年度 学年表彰
- 中川 千絵子 さん(二年)
- 角井 希望 さん(三年)
- 山本 梨奈 さん(四年)

ボランティアサークル(課外活動団体)



母性看護学・助産学領域
講師 小嶋 理恵子

四月より、母性看護学・助産学領域の講師として着任いたしました小嶋理恵子と申します。私は、助産師として京都市内の病院や児童相談所で勤務していました。当事者の方たちの思いや体験に寄り添う中で、自分の看護観・助産観を見つめ直す機会を持つことができました。そのことが、教育や研究をする上での基盤となっています。

講義や実習を通して、学生の皆様の皆様とともに、看護や助産について深く考えていきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



母性看護学・助産学領域
講師 林 佳子

私は平成二十一年四月に着任し、母性看護学・助産学領域に所属しております。学部における助産学教育と、大学院における助産学教育を主に担当しております。今年本学において北海道初の大学院におけるアカデミック型の助産師教育が開始されました。多様な形での助産師教育が模索される中、学生、院生の方たちと共に、私自身が助産師教育のあり方を学ぶ機会をいただいたと考えております。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

新任教員紹介②



母性看護学・助産学領域
講師 山口 さつぎ

みなさん、こんにちは。山口さつきです。三月まで、北見赤十字病院の産褥期母子センターで助産師として働いていましたので、実習でお会いした方もいらつしやると思います。まだ、着任して日が浅いのですが、ところどころで「さまざまな知識・技術を身につけて看護師になりたい!」というみなさんの熱い思いを感じ、そのための支援ができるよう頑張らなくてはと気を引き締めております。皆さんと一緒に学び成長していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。



成人看護学領域
助手 造田 亮子

私は、四月一日に成人看護学領域の助手として着任いたしました。造田亮子と申します。六年間の臨床経験を経ての着任となります。看護師生活では多くの壁におつかりましたが、それ以上に患者さん・家族・同僚から多くのことを学び支えられ、思いやりの気持ちを頂きました。どれも有り難い経験ばかりでした。初心に戻り、皆さんと共に勉強し看護師としての幅を広げられると良いと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



精神看護学領域
助手 伊東 健太郎

このたび、赴任して参りました伊東健太郎です。浦河赤十字病院精神神経科病棟に六年間勤務しておりました。臨床の場では、人が生きるということの無限の可能性と当事者の大きな力を感じ取って来ました。精神の健康について考えることは、私たちが人間として成長することはどうということなのか生きていることはどういうことなのかを考えさせてくれます。みなさんよろしくお願ひいたします。



地域看護学領域
助手 阿部 華枝

地域看護学領域の助手として着任いたしました。本学を卒業後、北見市の保健師として五年間勤務しました。その中で人と関わり合うことの楽しさや奥深さを肌で感じると同時に、広い視野を持つて地域をみつめる難しさを感じることもありました。教育に携わるのは初めてですが、経験の中から得た学びを生かしながら、地域を支える仕事の魅力について学生の皆さんと共に考えていきたいと思っております。



生活看護科学領域
助手 小里 裕美

私は本学一学期で卒業し、室蘭の緩和ケア病棟での臨床経験を経て四月より生活看護科学科領域の助手として着任致しました。臨床では終末期にあるがん患者やご家族が対象となるため、疾患様も置かれていた状況も様々であり、日々試行錯誤しながら解決策をスタッフ全員で模索していたことが今でも心に強く残っています。教育現場は初めてですが、がん看護の領域で大切にしてきたものを今後さらに深め、伝えていければと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



看護開発センター認定
看護師教育課程
助手 土井 陽子

四月から看護開発センターの助手として着任いたしました土井陽子です。看護開発センターでは、今年度ががん化学療法認定看護師教育課程を開設致しました。六月には、第一期生が入学し開講します。これまで、臨床でがん化学療法看護認定看護師として患者様、家族の方と関わり様々なことを学ばせていただきました。六月に入学する一学期とともに、認定看護師として学びを深めていきたいと思っております。

教職員人事

【退職】平成二十二年三月三十一日付
准教授 西片久美子
助手 荻原麻紀、本間仁子、真溪淳子

【採用】平成二十一年四月一日付
教授 伊奈侑子
准教授 葛西智賀子、松村三千子、シャロンハンリー
講師 山口佳子、小嶋理恵子、林佳子、山口さつき
助手 造田亮子、伊東健太郎、阿部華枝、小里裕美、土井陽子

【昇任】平成二十一年四月一日付
准教授 山本美紀(講師)、井上由紀子(講師)
課長 山本 均(係長)

【異動】平成二十一年四月一日付
総務課長 唯野俊一(教務課長)
経理課長 松尾保範(総務課長)
学務支援課長 網島彰男(学生課長)

学生支援課長 近田伸二(経理課長)
研究地域連携課長 山本 均(教務係長)
経理係長 中塚亨二(学生係長)
学務支援課長 辻 裕昭(経理課長)
学生支援課長 望月克仁(図書館司書)
図書館司書 竹内奈織子(総務課長)

編集後記

風薫る季節になりました。今年が開学十周年に当たり、様々なプロジェクトがスタートして、学内は非常に活気に満ちています。このViva Kango二十五号から広報委員会メンバーも一新されました。小誌では今後、オホーツク圏の医療を担う優れた人材の輩出に力を注ぐ本学の活動を取り上げていく予定です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



日本赤十字北海道看護大学内誌
Viva Kango
第25号

発行日/2009年6月30日
編集・発行/広報委員会

〒090-0011 北海道北見市曙町664-1
TEL (0157)66-3311 FAX (0157)61-3125
mail to: kouhou@rchokkaido-cn.ac.jp
http://www.rchokkaido-cn.ac.jp